

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第7回 常任理事会

日時：2014年 7月 9日 (水) 19:50～21:56

場所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
- (直 前 理 事 長) :
- (顧 問) :
- (副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
- (専 務 理 事) : 中島(崇)
- (監 事) : 黒川、澤畑、飯野
- (担 当 常 任 理 事) : 林、金
- (全国大会招致会議議長) : 羽石
- (会員拡大会議議長) : 太城
- (協働連携特別会議議長) : 篠崎
- (法令会計審査会議議長) : 廣田
- (事 務 局 長) : 橋本

- 1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
- 2 J C I クリード唱和 <林>
- 3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <篠崎(達)>
- 4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <廣田>
- 5. 関東地区宣言唱和 <羽石>
- 6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名 13 / 14名
- 7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
- 8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
- 9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
- 10. 理事長挨拶 <村上>

臨時理事会終了後に常任理事会ということで、開会が通常よりも遅いということで常任理事会構成メンバーの皆さま本当にありがとうございます。引き続き総務委員会の皆様、設営本当にありがとうございます。最後までよろしくお願ひします。先ほどの臨時理事会でもお話しさせていただきましたけれども、7月例会私自身にとっても非常によかったなという感想をもっております。二か月ほど前からちょっと感じるものが実はありまして、何かといいますと J C って来て来てという風にいうのですね、J C に来てって、でも自分たちは行かな

いのですよ。これはJ Cのすごく悪い所だなと思っていて、今年は市民が主役の町へというスローガンのもとに運動させていただいて、私自身も市民の立ち位置で市民として最良の変化をこの町にもたらすということが今年の運動の軸とさせていただいているところで、いろいろな団体やN P Oに顔を実は出すようにしているのですね、でいろいろな話を聞いて市民の価値観に触れたいという風におもっておりました。今回の7月の例会、タイミングよく篠崎議長が議案事業の構築の形のスキルアップをさせていただいたことで、いろいろな迷いがあった議長、委員長の皆さんも先ほどもお話ししたように非常に議案事業構築の仕方がはっきりみえたような気がするという話がありましたけれども、そんなことで私自身にとっても非常によかったところがございます。本日、行政出向の会議に出てまいりました。そこで様々な議論をし、似た話ですがこの町をよくしていくためにはどうしたらいいか、今日は有識者の方と午後議論を重ねてきました。やはり皆迷いがあるのです。すごく著名な人、たとえば地元でもみんなが知っている経営者の人であったり、大学の教授であってもやはり答えがわからないわけです。やはりいろいろな人、いろいろな団体の取り組む考え方を知ることが一番の近道だろうという話を今日の会議でもしてきた所があります。

そしていよいよ集大成を迎える事業、議案が今月から上がってきます。議長委員長は本当に早め早めに事業構築をしていただいて、このタイミングで上がってきているという所でもありますけれども、耳のいたいことを先月監事の皆様からもご指摘をいただきましたので、実は今月は正副理事長会議をして様々な意見を出した後に、再度議案を正副で確認をして方向性を定めて今日の常任理事会に臨んでまいりました。後半戦しっかり前半の反省も含めて正副理事長一同で事業の方向性がぶれないように、また会議がスムーズに進行されるよう我々も努力をして行く所存でありますので、是非常任理事会お構成メンバーの皆様におかれましても同じ気持ちでいていただきたいという風に思います。議長委員長を本当に迷わせたくないというのが本心でありますし、委員長が迷うとやはり委員会のメンバーの士気にも繋がってきます。委員会の活性化こそがJ Cであり根っこの部分でもありますので、そんな意識を是非このメンバーは持っていてこれからの会議、そして事業に臨んでいただきたいという風に思います。それでは本日の常任理事会も最後までよろしく申し上げます。

1 1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1 2. 役員報告

<篠崎(達)> J C I ナッシングバットネッツキャンペーンにつきましてですが、コンセーレ2階の自動販売機が設置されている所にJ C I ナッシングバットネッツキャンペーン専用の自動販売機が設置されましたことをご報告いたします。料金につきましてはほかの自動販売機と一緒にするので是非そちらのJ C I ナッシングバットネッツキャンペーンをご利用していただけるようお願いいたします。

<金> 3点ございます。まず宮まつり報告関連ですが、14日に第3回出向者連絡会議がございます。今回は市役所14階となっております。ボランティアの方等々、多数対外の方が来られますので7時開会できるように時間の厳守お願いいたします。また19、20日に天皇祭が開催されます。サマーコンファレンスと被っている日程ではございますが、20日につきましては多くのJ Cメンバーの参加をお願いいたします。各会議委員会に対して宮まつり委員会の方からご案内と詳細が行くと思っておりますので、その際は早急な対応をお願いします。最後にこちら相互理解確立委員会からでございますが、サマーコンファレンス

の方で20日の日曜日にパシフィック横浜の1階でブース出展を行います。こちらは国境なき奉仕団という支援を行っておりまして、その関連のブースを出す予定でございますので、お時間がございましたらみに来ていただければと思います。国境なき奉仕団というのは歴代会頭の松山先輩が理事長となって様々な海外支援の活動を行っております。たとえば東南アジアに学校を作ったり井戸を掘ったりとかそういう国際関係の協力事業を行っております。今年も医療部会という医者の方々が中心となり、部会の方にも支援をしております。今年はミャンマーで歯の検診を行ってきました。あとはフィリピンのレイテ島の復興支援事業を9月に予定しております。去年のフィリピンのレイテ島で台風被害がございまして、まだまだ壊滅状態だということで我々相互確立委員会も行って、現地の方に植樹であったり清掃活動であったりとか様々な復興支援事業を行う予定でございます。J CのOBの方が非常に多くその組織に属していますけれども、その窓口を我々相互確立委員会が担当しているような形でございます。

<廣田> 7月28日に県の公益への立ち入り検査が行われます。6月30日に事前に提出しておりますが、現在その不足の資料、訂正等々行っております。引き続き県の方から指示がくると思います。わからないことがあれば当時の担当者の方にお電話するかと思いますので、今後とも是非よろしく願います。

<小瀧> 先日行われました。埼玉中央J Cの対話集会に理事会構成メンバーの他に多数の方々にも応援に来ていただきまして、第五小会議は大変力をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

<太城> 臨時理事会で申し上げましたが、22日の公開委員会に多数のビジターの動員をお願いします。

<中島(崇)>私の方から2点ですが、栃木ブロックの事業の案内すでに流れていると思いますが、7月30日に本年度青木一憲君が副委員長として出ている栃木県研修塾委員会という所でブロック事業が行われます。会場が丸治の松竹梅の間で、開会が19時です。こちらは真岡J Cの塚本先輩をお呼びしての研修のお話で、J Cについてのお話になると思われませんが、入会年度が浅いメンバー多い所でございますので、機会があり時間がある方はぜひ参加をお願いしたいと思います。それから本年度、私の方で栃木S Cの幹事会の方に参加させていただいているのですが、同日7月30日の18時より、栃木S Cのパブリックビューイング、大分トリニタ戦がございまして、同時刻なので少し行きづらいとは重々承知しておりますが、もし興味がある方がいらっしゃいましたら伝えていただきたいと思っております。

13. 協議事項

協-01 8月例会 第39回ふるさと宮まつり 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、金常任より上程文の読み上げ。

<太城> 臨時常任理事会で申し上げたとおりビジター11名の根拠を教えてください。

- <金> 第6回の正副理事長会議の場でその意見が出まして、会員拡大会議の太城議長と相談しまして11名で計画しましたという返答を行っておりますが、すみません具体的な相談内容を聞いてないので確認をしてご報告させていただきます。
- <太城> 鈴木委員長より電話いただきまして、各委員会1名で、11名ぐらいでどうかという話をいただきまして、そうしてくれるならありがたいとことで、拡大だけではどうしても集めきれませんので是非お声掛けいただきまして、1名とはいわず20名、30名とよろしくお願ひします。
- <金> 担当委員会を含めてそのへん声掛けをしっかりとさせていただいて、11名といわず沢山集められるよう皆様のご協力も重々あおりながらやっていきたいと思ひます。
- <太城> 寄付金は金額確定してないと思うのですが、確定する時期というのはいつなのでしょう、質問です。
- <金> 次回の審議までには確定します。失礼しました。
- <中島(崇)> 一応本日の総会の資料の中に確定の金額が載っておりますので、一応確定はしています。
- <林> 神輿の方来週が締切だと思ひますが、募集の状況等々わかれば教えていただきたいと思ひます。
- <金> 子どもの方は、ほぼ人数に達していると報告をうけています。ただ残念ながら大人の方がまだ足りておりません。ただ競輪選手の方々がたくさん出ていただけるといふ話がつい先日まとまったみたいなので、そこらへんは強力な人員になるかなと思っております。是非皆様も募集しておりますので、お知り合ひをお誘ひいただければなと思ひます。
- <太城> 実施場所会場にバンバ広場とあるのですが、バンバ市民広場が正式名所なので、ご指摘させていただきます。
- <金> ご指摘のとおり修正させていただきます。
- <飯野> 確認ですが、予算書だと寄付金収入を通常会場費で全額使いますというかたちになっていますが、今回差額があるのはまだ寄付金が確定していないので差額が出てしまっているという答えでよろしいのでしょうか。最終的にはどうなるのでしょうか。
- <金> 寄付金の金額については記載されているとおり差額ゼロという形になります。
- <村上> もちろん開催委員会としては安心安全なわけでありませうけれども、JCとしては市民も主役になれるように運動を広げていく観点で、是非そんな気概をもつてお願ひいたします。

協-02 10月例会 心のふれあい事業 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、金常任より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)>フォーマットの事業予算については予算総額の事業計画書について添付されていますが、途中に入ってくるリンクがトップ事業要項から飛んでいないので修正してください。審議対象資料案内文がメンバー用とビジター用が逆になっているので修正してください。それにつきまして、ビジター用の案内文については事務局の開局時間が間違っています。15時になっていますので修正をお願いします。それからビジター用の案内文なのでタイトルは事業名がいいと思います。この事業名はだての心のフェスティバルという名前がうたった方がいいです。それから返信期限が決まっておられませんのでこちらは決めておいてください。
- <太城> ビジター10名とはいわずに20名、30名、LOMバスも出していただければと思うぐらいをお願いします。
- <金> 委員会で検討してさらなる上乘せをかけていきたいと思います。
- <林> 会場のことで教えて欲しいのですが、こちら入園者数が減ってきているということで、今7000人ぐらいの来園者があるということなのですが、今実際に来園者が実際どういう方が来ているのか、たとえば地元の子供たちがたくさん来ているとか観光の人とかもこれだけ来ているとか、もしくは観光の人たちは全然来ていないとか、そういった地域情報とかがわかれば教えてください。
- <金> すみません。こちらまだ人数しか把握しておりませんので、会場の方に問い合わせをして次回の理事会までにお伝えできるようにしていきたいと思います。
- <廣田> 前回の理事会の時に報告いただいていると思うのですが、その中であっただてJCとの支援の経緯、あちらの方を議案の方に明記していただくと非常に助かります。もう一点が返事を出している事業計画の中に、宇都宮に持ち帰ってくる部分として災害時の相互支援の確立という文言がございますので、こちらの方の対策をとっていただければと思います。意見です。
- <金> まず一番目の件につきましては資料を作成いたしまして、次回理事会までに添付をしたいと思います。二番目の事業計画の部分は、確かに記載されておりますので、そういった部分を事業の中に織り込んで、対応できるようにしていきたいと思います。
- <篠崎(達)> ブースの方で今少し考えているのが、宇都宮のブースで業者がだてに行くということで、たとえば宇都宮で開催しているときに餃子を出すとすると、地域の人に来てくれると思いますので、そこら辺なにかだての名産など単体でいただくと宇都宮のメンバーも楽しめるし、新規の人もしかしたらそういう目的もあるのではないかと思います。餃子は餃子で宇都宮から、ブース担当はだてJCで、そこらへん共催であればよりよくなると思います。

- <金> すみませんが記載がきちっとされていないので、今日委員長に確認を取ったのですが、だてJ Cさんの方から10ブースの飲食が出る予定だそうです。さらにだてJ Cさんの方から宇都宮からも是非出してほしいと要望があったので、この飲食のブースの方も宇都宮からもなんとか検討しているという状況です。記載がされておらず申しわけありませんでした。
- <太城> アンケートですが、一応チェックするとなっていますが、一番上でいえば学べたことは何かありましたか。これももう少し突っ込んでもいいのかなと思うのですが、どんな変化がありましたか。このチェックだとあまり参考の書類にならないと思うので、もう少し突っ込んだアンケートにした方がいいのかなと思います。
- <金> このアンケートについては再度見直して、より深いアンケートに精査していきます。よろしくお願いします。
- <羽石> 二点ほど質問ですが、今回の事業で協賛に伊市と株式会社大清プロダクションとありますが、大清プロダクションから予算の方で毎月お金を払っていると思うのですが、これは伊達市とはどういったかたちで協賛されているのかというのが一点、もう一点が担当役割の所で我々全国大会招致会議がメインステージのアトラクションのそれぞれに役割がありますが、これは二つとも人数を出すのでしょうか。質問です。
- <金> 協賛につきましては記載の方が間違えています。大清プロダクションの方は予算がついています。伊達市の方も具体的に決まっていないので、现阶段では削除させていただきたいと思います。もう一つ質問ですが、こちら再度確認させていただいて次回理事会までにしっかりとしたかたちで持ってきます。
- <橋本> 木村委員長も被災地ご支援重々ご理解されていると思いますし、我々スタッフも今回例会ですので、メンバー確認事項、木村委員長や金常任、委員会メンバーのモチベーションが必ずという文書についてお考えがあれば教えていただければと思います。
- <金> 今年大きなところで、伊達の実際に被災しているLOMのメンバーとの交流を今も行っていると思います。そういった人たちと懇親会の場とか宇都宮の事業での交流を含めて、現地の状況だとか生の声を聴けることが一つだと思います。その他のことに関してはまだアプローチとしては決まっていますが、確かに事務局長がいうように何かしら支援をしたいと思わせるようなモチベーションを固めるようなことはして行かなくてはならないと思います。ただバスを出したり、移動手段をうまくしていくことは考えておりますが、その辺を再度精査していきたいと思います。
- <橋本> 意見ですが、こちら木村委員長、委員会メンバーも含めて被災地を訪れ、実際にみたことは後につながると思うのです。LOMとしては7年間だてJ Cと交流を深めて来たので、その交流をしてきた経緯、根本をLOMメーリングで配信するなど、行く前にメンバーに経験をさせる手法はいかかでしょうか。
- <金> 委員会メンバーと再度協議してそのような手法を取り入れるようにしていきたいと思います。

- <羽石> 緊急連絡系統ですが、今回宇都宮 J C がメインステージを担当するというかたちになっていますが、実際に万が一何か起きた場合、木村委員長の判断のみで警察だったり消防だったり連絡しても構わないのかということも教えてください。
- <金> 基本的にはこの形で進んでいきたいと思っています。これで何かこういう風にした方がいいのではという具体的な案があれば出していただければ検討していきたいと思います。
- <廣田> 一般市民も連れていくような形になっておりますので、そのような広報のような資料をよろしくお願いします。
- <金> そちらも考慮して再度作り直してまいります。
- <篠崎(達)> 10月4日の方のタイムスケジュールですが、本当に中身が決まっていないと思います。だて J C さんとスケジュール調整をしていただければと思います。
- <金> 詳細のスケジュールを組み立てさせていただきます。
- <篠崎(達)> 何かかたちに残る様なもので、たとえば予算とかも宇都宮 J C、だて J C の配分を表にして、終わった時にお互いが確認できるようにした方が、いいのではないかと思いますので、作成の方をお願いします。
- <金> 貴重なご意見ありがとうございます。予算、役割分担につきましてきちっと作成させていただきます。
- <村上> 非常に委員会がご苦勞をかけているとは思いますが、未来がみえてきているなという気がするのですが、やはり単発のイベントというよりも災害支援はやはり地域の人たちの自立にもっていかないといけないと思います。将来、そしてそこで育つ子どもたちも含めて自分たちが未来を切り開いていかなければなりません。お手伝いを宇都宮 J C がすることによって加速度が増す、やはりそういう風にして行かないとならないと思いますので、そこを突き詰めて準備をしてほしいなと思うのが一点と、橋本事務局長もいっていましたが、宇都宮のメンバーが他人ごとになりがちになっています。宇都宮の地域だけの問題ではないので、そこをはやはりできるようにしてほしいなと思うのと、皆あの東日本大震災の後に支援に行きましたが、その気持ちを忘れているのです。ただ福島の人たち、東北の人たちはまだ同じなので、そこをしっかりと伝えられるようにすること。これがビジターを連れていくことに繋がれると思うのです。J C メンバーや、まちづくりをやっている団体じゃない人たちもかなり震災直後のボランティアに宇都宮から行っているはずなのです。そういう意味ではビジターと一緒に宇都宮から多くの宇都宮市民の人たちを連れて行くことができると思いますし、J C の価値とかも広がっていくと思いますのでよろしくお願いします。

協-03 11月例会 まちづくり事業開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>先ほどお金の話がございましたが、事業予算こちら修正が入る形かと思えます。こちら総会後になります。修正をかけるようにお願いいたします。それからお礼状、結びの敬白が改行になっておりませんので、フォーマットを直してください。事業内容で宮っこクイズ選手権があると思うのですが、これはタイムスケジュールには実際は載っていないのですが、やるやらないは実際精査していただいた方がいいと思います。その上で事業内容のタイムスケジュールの方も二枚になっていますが一枚になると思いますので、そちらまとめてください。それから協賛関係の依頼をもっと内容を盛り込んだ方がいいのではないかと。というご意見が出た所で、これ多分動員数最大の事業だという形で持っていくのであれば、プレスリリースの内容をもっと厚く盛り込まないとならないと思います。すごく薄いので、もう少し内容を厚くしていただきたいと思えます。

<太城> まちづくりプレゼンテーション、自治会アワードのプレゼンテーションというのはどういった形式でやるのでしょうか。質問です。

<林> 形式としては会場のセンター方向にステージを設けてあるのでそちらの壇上に上がっていただきNPO団体が活動している内容についてのPRをし、自治会と連携できるそういった活動について検討していただく、そういった内容のプレゼンテーションにしたいと思えます。

<太城> 特にMCを付けずにやるということですが、大抵グダグダになることが通例です。プロのMCを付けていろいろプレゼンをしていただいた中で引き出すような感じにしないと誰も聞かないのではないでしょいか。

<林> MCの件、委員会の方でもいろいろ議論をしている最中でして、スペシャルゲストの方にMCも合わせてできないか検討しております。ただシナリオ等々でまだ内容の方が詰められておりませんので、そういった所も含め委員会で検討したいと思えます。

<太城> 自治会アワード、ここでスペシャルゲストがMCをやるということですがけれども、バラエティとはまたわけが違うと思うのです。やはり自治会の訴えたいことを引き出して伝えられるMCじゃないとまたアワードがグダグタになるという気がしますがいかがですか。

<林> 確かに板野朋美さんは経験値が非常に豊富な方で様々な所である程度お話できるかと思えますが、まちづくりにという風に考えると十分じゃない所もあるのかなと思うので、そういった点を考慮しながらもう一度MCの方も検討します。

<金> 是非町作りサミットの時の団体にも声をかけ、調査していただきたいと個人的に思えます。あとこれは市民に活動を知ってもらうことが目的なのか、それとも繋げることが目的なのか、質問です。

<林> 最終的には知っていただき行動に移していただくことが目的です。

<金> 展示やプレゼンテーションだけだと参加者が耳を傾けない可能性があると思えます。何かしらブースを作ってそこで体験するとか何かステージで参加できるようにした方がいいと思えます。検討してください。

<羽石> 質問なのですが、外部協力者のだて J C さんや大学生の方々は具体的に何を協力してくれるのでしょうか。

<林> 大学関係に関しては、学生の方もまちづくりに関する活動を行っていますので、そういった内容に関しての発表の場を作るとか、まだ具体的には決まっていないので検討します。キャノンさんに関しては駐車場をお借りできればと考えております。その他のスポーツ団体に関してはまだ議案の流れの中で残っている部分もあるのですが、具体的な協力については検討してまいります。

<羽石> ラバンバで大学生によるまちづくり提案というかたちで宇都宮指定研究センターの方で11月に各栃木県内の大学の各セミナーだったりサークルの団体で街づくりの主として行っている団体であったり、プレゼンテーションしますのでリストの方に入れていただければと思います。その中で何かいっていただければご協力させていただきますのでご検討よろしく申し上げます。また質問ですが、協賛、事業計画書についてですが、事業費を合わせて220万、支出をみると160万越えていまして、企画演出でそもそもの事業予算を越えていますので、寄付金で絶対集めないといけないという所で、認識で捉えたのですが、けれども先ほど寄付金を集めるところで宇都宮 J C として協賛をえるについて所得控除がえられるというかたちでありました。宇都宮 J C は公益社団法人ですのでえられるのですが、その仕組みというのはどういう風に考えていますか。法令会計とどこまで詰まっていますでしょうか。質問です。

<林> 寄付金収入の控除に関してですが、まだ委員会の方ではそういった控除あるということでホームページ等々にて確認している状況でして、廣田議長とは深い相談の方はまだしておりませんでしたので、その詳細をよく確認してまいりたいと思います。

<羽石> 控除の件であれば正直やめた方がいいと思います。寄付金の扱いについてよく話し合っていないというのが現状だと思います。我々もラバンバで募金活動するにあたり、いただいたお金を入れず、あくまでもユニセフを介して参加していただいた業者の方が直接ユニセフに入れていただいたというかたちでユニセフの方はスキームができていますので、寄付金は募らせていただきましたが、そういったことが現実的にできないというのであれば、この予算は正直できないと思うので早急に話し合われた方がいいと思います。そういった中で理事会の中で寄付金についてそういった根本的な話し合いを設けるなりの方がいいかと思います。

<太城> 宮っこクイズとありますが、事業内容に何も書かれていないのですけど何をやるのでしょうか。

<林> ギネス記録、宮っこクイズに関しては以前までの議案内容の文言が残ってしまいました。修正ができておりませんでしたので削除させていただきます。

<金> 予算の件で寄付金の件ですが、板野朋美さんの出演料が高すぎると思います。これは下がらないのでしょうか。交渉してこれ以上は限界なのか、下がる可能性がまだまだあるのかという所が一点、また板野朋美を選定したのはわかるのですが、板野朋美じゃなくってはいけないのか、これほどの予算をわけてその講

師を呼ぶために、寄付金まで集めるその強い思いをご説明いただければと思います。

<林> 予算出演料に関してですが、今現在メールのやり取りでそれぐらいの予算であればという所の話でございます。具体的な出演料の交渉はこれからであります。なぜ板野朋美さんなのかという所ですが、今回自治会の未加入者の方に加入する行動をいただいて、そのためには若い世代の方にまずはその一歩を踏み出していただかなければいけないと思いました。そのためにはやはり国民的な人気を誇るAKBのメンバーの方にその役を担っていただければと思いました。当初は大島優子さんを第一候補としてあげておりました。やはり地元の方に当然来てほしいという思いがございますので、現在も大島さんにアプローチをかけている所でございますが、現在において出演のOKをいただいているのが板野朋美さんということで議案の方つくらせていただいております。

<金> その説明だと理事会構成メンバーには伝わらないと思います。寄付金まで集めてやるのがこの板野朋美じゃなきゃならないというところ。若い人を呼ぶには他の人でもありえると思うのです。そういった所をその講師じゃなきゃいけないといった理由を突き詰めていただきたいと思います。

<澤畑> この議案をみたときに思ったのが、これが集大成でその寄付金もそうですが、私が思っている協賛金というのはビジネスでお互いWINWINになる場合もありますが、JCで協賛金を募るとするのは、僕が考えるにこういうことではないと思うのです。基本的に私は協賛金をJCの事業内でやるのは好きじゃありません。与えられた予算の中で事業を構築してやっていくというのも勉強だと思っているし、板野朋美も私個人的には好きです。そういうことじゃないと思います。金常任もいっていましたが、でも130万の事業の予算を渡されていきなり160万の人を呼びます。そこからすでに何を考えているのかなと思うのです。この事業の目的でどうしても必要なのか、本当にこの事業の目的が何を伝えたいのか、まだぶれているのではないかと思います。司会も太城議長もいっていましたが、本当に自治会を動かすのは難しいです。こんな張りきってやっている自治会はないと思います。パネルにしてアワードにして理想的な話ですよ。どこの自治会も盛り上がっている自治会だったらいいですけど、現状をみてないのではないかと思いますし、しかも宇都宮市で自治会に入っていないのは2割しかいません。入っている方が8割です。逆じゃないですよ。そんなところに目を向けても仕方がないのではと思うのです。JCのような志を同じにする団体ですら例会出席8割行きません。それで8割加入していたら立派なものじゃないですか。そもそも何がしたいのか、本当に把握しているのか、定まっているのかという所をもう一回聞きたいです。130万は他の事業に比べたら予算を付けてもらっている方だと思います。まだまだ考えられたのではないかと思います。もう少し考えてください。

<橋本> 今回清原球場ということですが、清原球場だとスペースが余っているのですが、今回やるのに清原球場じゃなきゃいけないという考えを教えていただければと思います。

<林> 大勢の市民の方に来ていただきたいという所を第一に考えました。2500名とか3000名近い人数になるのですが、そのためには駐車場、アクセスも大切になるというのも考えて、当初は町の中に会場を検討しましたが思いきって郊外のスタジアムを設定しました。

<橋本> タイムスケジュールですが、ゴミ拾いを開会の前にやるというのはどういうことなのかと、市民が皆で築き上げるという時にこの3分のゴミ拾いはどういう効果をもたらすのでしょうか。

<林> 今回の事業を通し、最終の目的は市民が行動に移すという所を考えています。当日にかけまして自治会の方には様々な活動をしてもらうのですが、当日の活動の第一歩としてゴミ拾いをみんなでしていただきたいと思っております。ゴミ拾いに参加をし、そこで出欠の確認をすることによりスタジアムに入場できるという流れを想定し、最初にゴミ拾いをすることを考えております。それと協力者に産廃業者が入っておりませんでしたので、そこらへんも含めもう一度検討してまいります。

<篠崎(達)> 宇都宮でたとえば週末とか休みの日に人が多く集まっているのはどこだと思いますか。

<林> ショッピングモールとか駐車場がある公園など、家族で一緒にという所が非常に多く集客ができると思います。

<篠崎(達)> あえて清原球場にして人集めの努力をしなければならぬのであれば、たとえばショッピングモールでもたとえばインターパークスタジアムとかももしかしたらイベントとかやっていと思うのです。休日にこの例会に来てもらうとなると10時から2時、3時、5時位まで来てもらい、そのあとどこに行こうかなとなつて思っています。たとえばこのイベントに参加して、買い物もできて、そういったのも考えられるので会場選定、またどの内容を主とするかによってその辺も変わってくると思います。タイムスケジュールもまだ甘いのもっと詰めてください。

<太城> もう一度持ち帰った方がよろしいかと思つています。

<村上> もっと広げていいと思うのですが、結局人を動かすには人の想像以上にやらないと多分感動しないのです。感動しなかつたら人は動かないと思うのです。広げ方の方向性が甘いし、人が多く来るから清原球場を選択したのだつたと思つています。板野朋美を呼ぶのは悪くないと思つていますが、人を集めるには一つひとつのことにちゃんと理屈をつけていかなければいけないと思つています。アワードを自治会だけじゃなく学生って話も羽石議長からも出ましたけれども、僕もすごく学生とかもキーだなと思つたりして、結構まちづくりしている学生が多く自治会でNPOいろいろあるし、アワードやるのであれば全部ひくくてもいいと思つています。アワードをやるのであればどういう意味を持つアワードにしていくのか牽引していくわけじゃないですけど、宇都宮版ギネスブックにしていくのか、宇都宮版内閣総理大臣賞みたいにするのか、そういった所も考えていかなければいけないと思つています。ゴミを拾うのであれば宇都宮で一番汚い所ですればいい話ですし、一つひとつ丁寧に考えてもっと広げてもっと広く考えて理由を一つひとつしっかりつけていけば必ずいいものができると思つています。協賛の意見は監事からありましたが、僕はもちろん悪しき例にはいけないと思つています。協賛ありきの事業構築になると澤畑監事もおっしゃりましたけれども、それもすごく怖い所で、ただ世界のJ Cで行くとスポンサーで事業とかL O Mが成り立っているのです。そういう手法にチャレンジにするのも一つJ Cの今後の可能性を広げていくことになると思つているので、それも考えてほしいと思

います。ですがちゃんとした理由がないと本当に悪しき慣例になる可能性はあると思います。ただたむ事業はいくらでもできるので広げて考えてほしいと思います。J Cの可能性を信じてよろしく申し上げます。

協-04 その他

なし

14. 報告事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-04 会費納入状況について

<廣田> ご一読ください。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 例会出欠報告について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-07 2015年度理事当選者について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-08 次回開催について

<中島(崇)> 8月12日(火) 19:00～ コンセーレ JCルームにて開催。

15. 監事講評

<飯野>

本日常任理事会の議案が三本ということで非常に内容が濃い案件になっていたかと思えます。本数も少ないので一本ずつ述べさせていただきたいと思えます。まずふるさと宮まつりですけれども内容はいいかと思えます。あとは今回非常に大きい寄付金受け入れがあって損失がございます。公益比率も非常に影響してくる内容になっていますので、決議等々間違いないように進めていただければと思えます。

心のふれあい事業ですけれどもこちらにつきましても対外、本当に遠方に行く事業でありまして、正直これも公益事業であり廣田議長の方から一言あったように今回災害復興事業という位置づけでありますけれども、そこにうまく公益事業、県の報告が絡みますので、そこをどう整合性をつけていくか、そこら辺も同じくよく詰めながら一緒に進めていただきたいと思います。

最後に街づくり事業ですけれども本当にいろんな添付資料を細かく作ってありまして、委員会の皆様も本当に頑張っていらっしゃるなという案件であります。先ほどの協賛金の件でこれは私個人的な意見ですが、前年度財政局長をやらせていただきましたが、基本的にはJCは収入の会費はきれいに使いきって収支ゼロというのが一番の理想の形だと思います。今回の予算を拝見するとやはり寄付金収入があり、協賛金が90万付いているのですけれども、仮に協賛金がゼロであった場合にこの事業費の予備費というのも本会計に充当してもまだ足りないという形になります。非常に収支的に危ない形にはどうしてもなってしまうのが現状であります。その内容を理事会にもっていきどういう決がでるのか等々もありますけれども、まずは今回事業内容についていろいろありましたが、やはり事業内容もわかりませんが予算がどういう風に使われるかというのもこの場でしっかりみていく必要があると思えます。そしてその協賛金をまず常任理事会、あるいは正副理事会でよしとするのかなしとするのかまずそこが決まらないと事業内容も先に進んでいかないと思えますので、どちらにせよまずそのあたりをしっかりと詰めていただければと思えます。これからまた8月、9月、10月、11月と本当に大きな対外事業が続いてきます。当然夏場の暑い時期にもなりますし、本年度ありきとはいいつつも次年度の動きが入ってきたり等々、知らず知らずメンバーの方にも負担が来て体調を崩しがちな時期にもなるかと思えます。常任理事会のメンバーの皆さん、今年もそうですが、担当するラインの委員長、委員会メンバーが体調を崩されているかどうかしっかり目を配っていただいて、一人も欠けることなく宇都宮JCメンバー一同この大変な時期を乗り越えていただければと思えます。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第7回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会